

沿革

1999年	3月	ソフトバンク(株)の純粋持株会社化に伴う事業再編成を受けて、ソフトバンク(株)管理本部がソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業活動を統括する事業持株会社となる。
	7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行う事を目的として、ソフトバンク・インベストメント(株)(現SBIホールディングス株式会社、以下「SBI」)を設立。
2000年	6月	モーニングスター(株)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
	9月	イー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
	12月	SBIがナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
2001年	8月	ソフトバンク・フロンティア証券(株)(ワールド日栄証券と合併後、SBI証券(株)に商号変更)がナスダック・ジャパン市場(現:大証ヘラクレス)に上場。
2002年	2月	SBIが東京証券取引所市場第一部に上場。
	11月	SBIが大阪証券取引所市場第一部に上場。
2003年	6月	SBIがイー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))と合併し、事業持株会社としてイー・トレード証券(株)他を子会社とする。以後、SBIを中核会社とする事業再編を加速。
	9月	ファイナンス・オール(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
	10月	ワールド日栄証券(株)(旧SBI証券(株))を買収し、子会社とする。
2004年	10月	ベリトランス(株)(現SBIベリトランス(株))が大証ヘラクレス市場に上場。
	11月	イー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)がJASDAQ市場に上場。
2005年	3月	公募増資によりソフトバンク(株)の持株比率が低下し、ソフトバンク(株)の連結子会社から持分法適用関連会社に変更。
	7月	ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。会社分割により、アセットマネジメント事業をソフトバンク・インベストメント(株)(旧SBIベンチャーズ(株))に移管し、持株会社体制へ移行。
2006年	3月	SBIホールディングス(株)がSBIパートナーズ(株)及びファイナンス・オール(株)を合併。株式交換により旧SBI証券(株)を完全子会社化。
	5月	SBIフューチャーズ(株)が大証ヘラクレス市場に上場。
	8月	モーニングスター(株)の子会社であるゴメス・コンサルティング(株)が大証ヘラクレス市場に上場。主要株主であるソフトバンク(株)の子会社がSBIホールディングス(株)の全株式を売却したことにより、ソフトバンク(株)の持分法適用関連会社より除外となる。
2007年	2月	SBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)の韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.が韓国KOSDAQ市場に上場。
	10月	SBI証券(株)がSBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)を存続会社として合併。
2008年	8月	株式交換により(株)SBI証券を完全子会社化。
	9月	(株)SBI証券の韓国における子会社E*TRADE Korea Co., Ltd.の株式を譲渡。
2009年	8月	株式交換によりSBIフューチャーズ(株)を完全子会社化。
2010年	2月	SBIアクサ生命保険(株)の全株式をアクサ ジャパン ホールディング(株)に譲渡。
	4月	(株)SBI証券がSBIフューチャーズ(株)を合併。
	6月	第三者割当増資に応じ韓国KOSDAQ市場上場のKTIC Global Investment Advisory Co., Ltd.(現SBI Global Investment Co., Ltd.)を子会社とする。
	7月	追加増資に応じ韓国KOSDAQ市場上場のKorea Technology Investment Corporation(現SBI Investment Korea Co., Ltd.)を持分法適用関連会社とする。
	9月	ロシア連邦・モスクワ市に駐在員事務所を開設。
	10月	ベトナム・ハノイ市に駐在員事務所を開設。
2011年	2月	SBIベリトランス(株)の完全子会社化のための株式交換契約を締結。
	4月	SBIホールディングス株式を原株とする香港預託証券(HDR)を香港証券取引所に上場。
	5月	マレーシア・クアラルンプールに駐在員事務所を開設。
	7月	モーニングスター(株)がゴメス・コンサルティング(株)を吸収合併。

トピックス

2010

- 4月 ● (株)SBI証券がSBIフューチャーズ(株)を合併
 - 中国・上海市に駐在員事務所を開設
- 6月 ● 韓国KOSDAQ市場上場のKTIC Global Investment Advisory Co., Ltd. (現「SBI Global Investment Co., Ltd.」)を連結子会社化
 - スリランカの大手商業銀行であるCommercial Bank of Ceylon PLC株式を、当社子会社を通じて取得
 - 一般募集による311万株の公募増資を実施
- 7月 ● (株)ガリバーインターナショナルの金融子会社である(株)ジー・ワンファイナンスサービスの信販子会社(株)ジー・ワンクレジットサービス(現「SBIクレジット(株)」)の株式を譲受
 - 中国の大手損害保険会社である天安保険社の株式を既存株主より取得
 - 韓国 KOSDAQ 市場上場の Korea Technology Investment Corporation (現「SBI Investment Korea Co., Ltd.」)を持分法適用関連会社化
 - 米国Jefferies Group Inc.と、米国及びアジアの企業を対象とした投資ファンドを共同設立
- 8月 ● ブラジルの資産運用会社Jardim Botânico Investimentosと投資ファンドを共同設立することで基本合意
- 9月 ● 国内外の金融情報を提供する金融ポータルサイト「SBIF」を開設
 - ロシア連邦・モスクワ市に駐在員事務所を開設
- 10月 ● (株)SBI証券、iPhoneに対応した株取引アプリ「SBI株取引」を提供開始
 - 中国・上海市の復旦大学と、中国未公開企業を投資対象とする投資ファンドの共同設立に基本合意
 - SBI損害保険(株)自動車保険契約件数が20万件を突破
 - ベトナム・ハノイ市に駐在員事務所を開設
 - SBI Phnom Penh Securities Co., Ltd.がカンボジア証券取引委員会から、日系金融機関として唯一となる同国における証券事業フルライセンスの認可を取得
- 11月 ● 日本・中国両国企業間の情報交換及びM&Aの活性化に向けて、「一般社団法人日中M&A協会」を設立
 - SBI大学院大学、ベトナムの私立大学FPT大学と包括的提携に関して基本合意
- 12月 ● SBIレミット(株)が資金移動業者として登録され、日本初となるインターネットを主要チャネルとする国際送金サービスを開始
 - SBIモーゲージ(株)の対面型店舗「SBI住宅ローン」及び「SBI住宅ローン／SBIマネープラザ」が100店舗を突破

2011

- 1月 ● Invest AD (アブダビ投資会社)と北・中央アフリカ6カ国の企業を投資対象とする投資ファンドを共同設立
- 2月 ● 住信SBIネット銀行(株)口座数100万口座を突破
 - SBI Phnom Penh Securities Co., Ltd.が日系企業初となるカンボジアでの株式上場主幹事を獲得
 - 韓国LG CNS Co., Ltd.との合併会社SBI-LGシステムズ(株)を設立
 - SBIペリトランス(株)の完全子会社化のための株式交換契約を締結
- 3月 ● (株)SBI証券、インターネット証券大手3社と協力し、『資産倍増プロジェクト』を立ち上げ
 - SBIソーシャルレンディング(株)が営業開始
- 4月 ● (株)SBI証券、ベトナムの大手証券会社のFPT Securities Joint Stock Companyの発行済株式の20%を取得
 - SBIホールディングス株式を原株とする香港預託証券(HDR)を香港証券取引所に上場
 - 香港の証券会社Kingston Financial Group Limitedの第三者割当増資を引き受け、発行済株式の2.74%を取得
- 5月 ● 住信SBIネット銀行(株)預金総残高1兆6,000億円を突破
 - Invest AD (アブダビ投資会社)とトルコの未公開企業を投資対象とする投資ファンドの共同設立で最終合意
 - マレーシア・クアラルンプールに駐在員事務所を開設
- 6月 ● 住信SBIネット銀行(株)住宅ローン実行累計額8,000億円を突破
 - ロシアの商業銀行Obibank Ltd.の発行済株式の50%を取得
 - 中国証券報社と日中間の経済・金融情報サービス事業及び広告代理業務、ウェブサイト構築業務を行う上海新証財経信息咨询有限公司を合併設立
- 7月 ● モーニングスター(株)がゴメス・コンサルティング(株)を吸収合併
 - (株)SBI証券、インドネシア第4位のバンクネガラインドネシアを中心とするBNIグループ傘下のBNI証券の発行済株式の25%を取得